

雲南病院だより

夏になって出てくる虫、動物、「刺された、かまれた」ときにどう対応する？

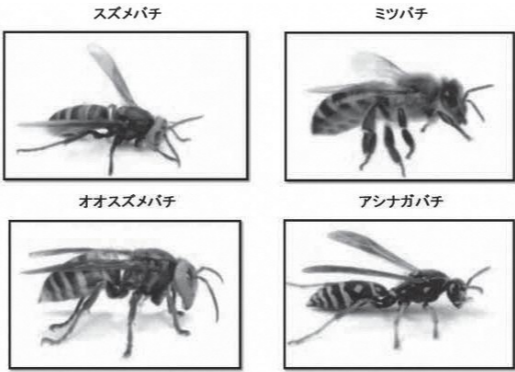


外科診療科医長 高尾 聡

今年も梅雨入りも早く、例年にもまして暑い夏がやってくるのが予想されます。例えば炎天下であっても、元気な子どもたちは野山を駆け回ったり、働き者の大人たちの中には畑仕事に精を出したりする方々も多くいると思います。そこで、夏場にかけて増えてくる外科的疾患の一つとして、「虫咬傷、動物咬傷」があります。「蚊に刺されてかゆい」という悩みから「ハチやムカデ、ヘビにかまれたけど大丈夫か」、「野良犬や猫にかまれたけどどうしたらよいか」などいろいろ心配になる方もいらっしゃるかと思いますが、動物咬傷について紹介します。

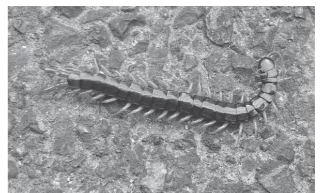
ハチ咬傷

アナフィラキシーショック※を起すことがあります。症状が出現するのは刺傷から2〜3時間以内（ほとんどは30分以内）が多く、時間が短い程重篤です。多臓器不全を起すこともあります。



ムカデ咬傷

自宅でもでざる初期治療があります。シャワーなどの44〜46度程度のお湯を20分程度かけ続けることです。こうした温熱療法で痛みを軽減させることが可能と言われています。ただし、42度以下では無効、48度以上で低温熱傷の危険性がありますので、温度調節がきちんとできればこうした対応も自宅でも行うのは良いかと思えます。不安であれば医療機関への受診をお勧めします。



ムカデ

マダニ刺咬

ツツガムシ病、日本紅斑熱、ライム病、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）などの病原体が体内に侵入する恐れがあり、マダニ頭部の完全な除去が必須です。虫体の残存が疑われる際には周りの皮膚ごと切除する必要がありますので医療機関への受診をお勧めします。



マダニ

ハチ、ムカデ、マダニに共通する治療

- ①ハチの針は抜きます。ちぎれた場合は局所麻酔を使用して摘出します。
- ②皮ふの腫れ、水膨れ、皮ふ出血、硬結などの局所症状改善のためにステロイド入り軟膏を使用することがあります。
- ③かゆみが激しい時には抗アレルギー薬を使用することがあります。
- ④多発病変で炎症の強い時にはステロイドの内服を行う場合もあります。適宜、患部の状態により上記を組み合わせます。

動物（犬、猫、人）咬傷

犬より怖いのはヒト？

猫、人は特に感染率が高いです。ときにアナフィラキシーショックになることがあります。

意外に傷が深く、神経や血管、腱などを損傷する可能性があります。人咬傷では咬った際に相手の歯で拳を負傷し伸筋腱や指関節を損傷しやすいです。咬まれた際は、傷口を洗うことが重要です。



〈治療〉

- ①せっけんを用いて、水道水や生理食塩水で十分洗浄します。洗浄ができないような深い創や汚染の強い創は、局所麻酔下で外科的治療を行います。
- ②原則あえて傷をあけて、ガーゼで覆います。
- ③受傷後時間が経過し腫れているものは、切開処置や抗生剤の点滴治療が必要になることがあります。入院加療を要することもあります。
- ④破傷風対策も必要です。
- ⑤狂犬病は発症するとほぼ致死率100%。国内での犬からの感染報告は60年以上皆無であり、国内で飼う犬などにかまれた場合には基本的には心配は無いとされています。

「愛知県豊橋市は、フィリピンから来日した外国籍の男性が狂犬病を発症したことを確認したと発表しました。男性は令和元年9月にフィリピンで犬にかまれたことがあり、その際に感染したとみられる。狂犬病の発症が国内で確認されたのは平成18年以来、14年ぶりとなる」
従って、海外での受傷歴、狂犬病流行地域（東南アジアなど）への渡航などは注意が必要です。

ヘビ咬傷

日本ではハブ、マムシが毒ヘビの代表ですが、ヤマカガシも毒を持っています。かまれたときはヘビの種類を確認することが大切です。毒牙による創（牙痕）が目印になることが多いです。

受傷直後〜30〜60分で腫れることが多いですが、腫れない場合もあり、経時的変化の確認が必要です。近年、毒素排出のための切開、吸引は無意味とする意見が多いです。

〈治療〉

- ①毒の有無に関わらず、創傷の評価・洗浄・破傷風予防を行います。
- ②創部の経時的変化によっては外科的切開が必要になることがあります。
- ③初期治療は抗毒素が重要で、抗菌薬治療も行います。ステロイド治療も有効とする意見もあります。
- ④基本的には全例入院の上で、頻回の経過観察が必要になります。



マムシ



ヤマカガシ

※アナフィラキシーショックとは

アレルギーの原因が不明の場合 皮ふの症状 + どれか



アレルギーの原因が分かっている場合

- 原因に曝露後
- ①皮ふ・粘膜症状
 - ②呼吸器症状
 - ③循環器症状
 - ④持続する消化器症状
- どれか2つ以上の場合

～マダニについて～

マダニは、シカやイノシシなどの野生動物が出没する環境に多く生息し、民家の裏山や畑などにも生息しています。野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！



ダニの多くは、長時間吸血します。吸血中にマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮ふの中に残り化膿することがあるので、皮膚科などの医療機関で、適切な処置を受けてください。マダニにかまれたら、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱などの症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けてください。

出典：国立感染症研究所ホームページ

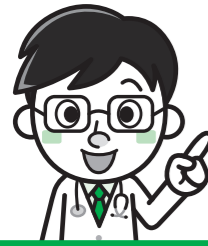
出典：アナフィラキシーショックガイドライン改定

総合診療医が答える

「こんな症状や疑問持っていませんか？」

第15回：「これはただの関節痛ですか？」

このシリーズでは総合診療医が患者さんからいただいた質問をもとに市民の皆さんが困っている症状や疑問について解説します。



先日いただいた質問はこれです。

「これはただの関節痛ですか？」

関節痛は病院受診につながる症状の中で、最も多いものの一つで、実際に当院でもたくさんの患者さんが関節痛で受診されています。特にこの時期は農作業で体を使うことが多く、あらゆる関節の痛みが起こることがあり、受診患者さんも増えています。一方で、「いつものだ」と思っている方は自身で静養されたり、市販薬を購入されてりして良くなっていることが多いのではないかと思います。皆さんの経験どおり、ほとんどの関節痛は休めば良くなります。

しかしその中でも、注意すべき関節痛があります。それは関節の周囲を支えている靭帯や軟骨を損傷した場合、リウマチ性疾患や感染症が原因となっている場合です。これらの疾患の場合、休んでいるだけでは良ならず、逆に無理に使うとどんどん悪化することがあります。その症状の特徴は、

- ・安静にしていても痛みが続く
 - ・朝起きてから1時間以上関節が硬く動かしにくい
 - ・関節が熱くなり、腫れている
 - ・関節痛以外に微熱や倦怠感がある
- これらの症状がある場合は無理せずに早期に病院受診をしていただき、精密検査を行う必要があります。特にリウマチ性疾患や感染症は早期発見、早期治療がとて重要です。早期に薬剤を使うことによって、ほとんど後遺症がなく生活することができます。

当院でも、リウマチ・膠原病を積極的に診察していますので、上記のような症状があれば、できるだけ早く受診しましょう。

危険な関節痛は？

- ・安静時の持続的な痛み
- ・朝の1時間以上続く関節のこわばり
- ・関節の熱感と腫れ
- ・発熱や倦怠感を伴っている

職員採用試験案内

令和4年4月1日採用予定の職員採用試験を行います。受験希望の方は受付期間内に申込書を提出してください。詳細は、市立病院ホームページ (<http://unnan-hp>) に掲載しています。

1. 試験区分、採用予定人数および受験資格

試験区分	採用予定人数	受験資格
看護師	3人程度	平成3年4月2日以降に生まれた方で、看護師の免許を有する方（免許取得見込みの方含む）
助産師	1人	昭和61年4月2日以降に生まれた方で、助産師の免許を有する方（免許取得見込みの方含む）
保健師	1人	平成3年4月2日以降に生まれた方で、保健師の免許を有する方（免許取得見込みの方含む）
臨床検査技師	1人	平成3年4月2日以降に生まれた方で、臨床検査技師の免許を有する方（免許取得見込みの方含む）
相談員	1人	平成3年4月2日以降に生まれた方で、社会福祉士の免許を有する方（免許取得見込みの方含む）

2. 受付期間

- 7月21日（水）まで
- ・受付時間 9時～16時まで（土・日・祝日を除く）
- ・郵送の場合 7月21日（水）までに到着したものを受け付けます。



3. 試験日時および試験会場

試験日時	8月6日（金）	受付時間：13時00分～13時15分	試験開始：13時30分
試験会場	市立病院		

※職員採用試験を通じて収集した受験者の個人情報、職員採用試験および職員として採用された後の人事管理にかかわる事務に利用することを目的とし、それ以外の目的のために使用することはありません。

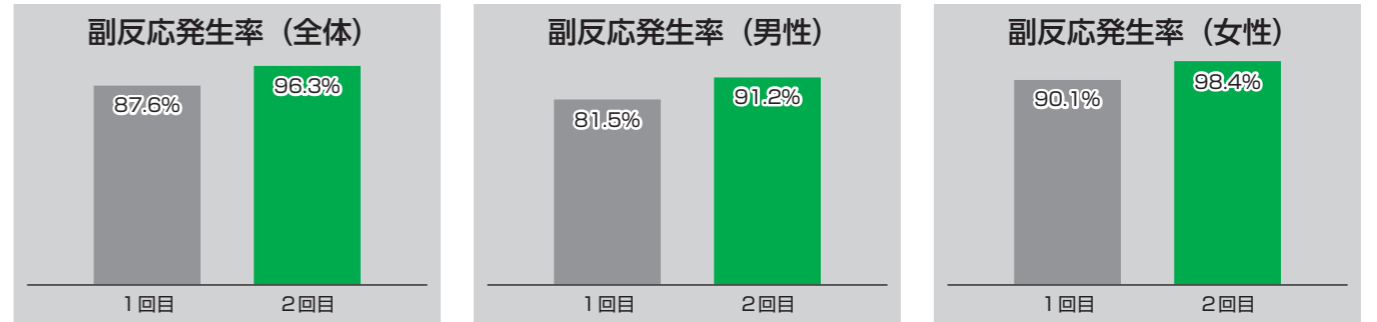
【問い合わせ先】市立病院 総務課 ☎0854-47-7532（直通）

市立病院職員の新型コロナワクチン接種後の副反応調査

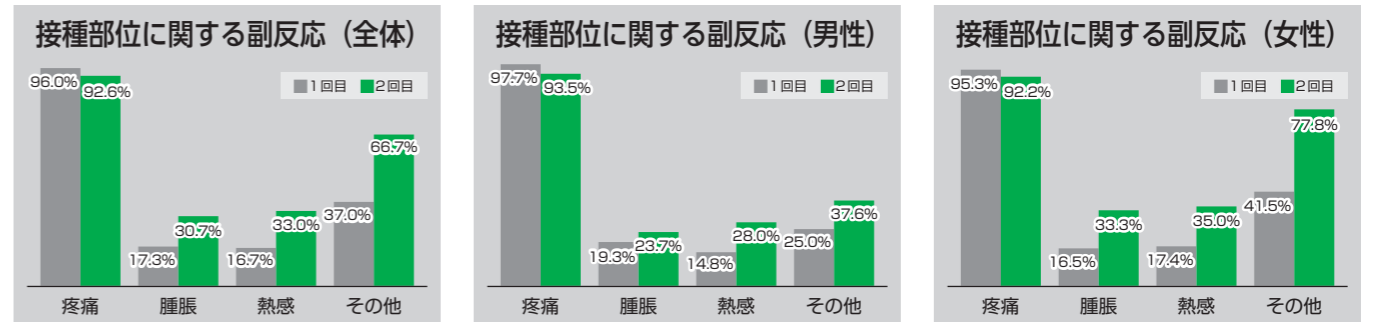
当院では3月15日から6月4日の期間で、新型コロナワクチンの医療従事者先行接種をし、この接種における副反応調査を実施しました。

※調査対象者数 【1回目】男性88人 女性236人 合計324人 【2回目】男性93人 女性243人 合計336人

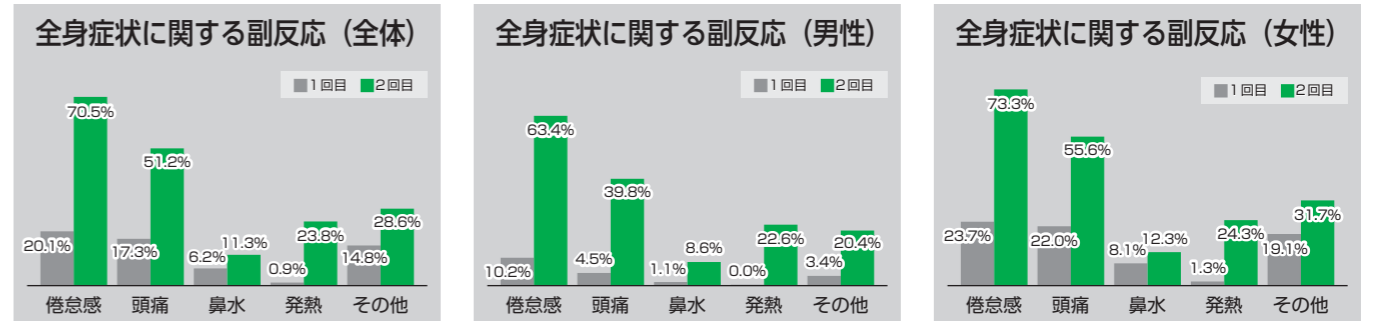
【接種後の副反応の状況】



《考察》・副反応は2回目接種の接種後の出現率が高くなっています。



《考察》・接種部位に関する症状の種類では接種1回目と2回目共に男女の違いはありません。
・その他の症状としては発赤、硬結、かゆみなどがありました。



《考察》・全身状態に関する症状では女性の方が出現率が高いです。
・その他の症状として筋肉痛、下痢、悪寒などがありました。

【総括】

今回実施した新型コロナワクチン接種では、接種1回目より2回目の接種後の副反応症状が多く、いずれも接種翌日に症状が出現する傾向でした。また、症状が出現しても接種後2日程度で症状が改善しており、後遺症や生命の危険を伴うアナフィラキシーショックの事例はありませんでした。

市民の皆さんもワクチン接種をされた際に副反応の症状が出現する可能性があります。心配なことがあれば当院またはかかりつけ医へ相談ください。

* グラフ中の用語解説

注射部位の症状	用語	説明	全身症状	用語	説明
注射部位の症状	発赤	注射部位の皮ふが赤くなること	全身症状	倦怠感	ワクチン接種後に出現した、だるさ
	疼痛	注射部位が痛くなること。注射した後に出現する筋肉痛も含まれる		頭痛	ワクチン接種後に出現した、頭痛
	腫脹	注射部位が腫れあがること		鼻水	ワクチン接種後に出現した、鼻水
	硬結	注射部位の一般的に柔らかい組織が、炎症などで硬くなること		嘔吐	ワクチン接種後に出現した、吐き気による嘔吐
	熱感	注射部位に感じられる熱っぽい感じのこと		下痢	ワクチン接種後に出現した、下痢
	かゆみ	注射部位がかゆくなること	その他	眠気、浮遊感、脇の下の痛み、息苦しさ、関節痛、寒気、めまい、腹部違和感など	